

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名	豊川市
河 川 名	豊川水系準用河川善光寺川
担当課室名	道路河川管理課河川港湾係
連 絡 先	0533-89-2279（内線1419）

事業名	豊川水系善光寺川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する豊川水系善光寺川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市牛久保町水金剛地先～豊川市馬場町弁天前地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 8 年度（2 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量		
	令和 7 年度	80	80	第 3 種建設発生土	
	令和 8 年度	80	0		
	令和 9 年度		0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	160	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	2, 800	2, 800	0	
	令和 8 年度	3, 100	3, 100	0	
	令和 9 年度		0	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	5, 900	5, 900	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 豊川水系善光寺川は東に位置し流路延長2. 0kmの準用河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 善光寺川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 6 0 m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 8 年度の 2 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、1 6 0 m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・ 河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・ 施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・ 測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名	豊川市
河 川 名	音羽川水系準用河川稲束川
担当課室名	道路河川管理課河川港湾係
連 絡 先	0533-89-2279（内線1419）

事業名	音羽川水系稲束川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する音羽川水系稲束川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市平尾町前田地先～平尾町榎上地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度（3 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量	第 3 種建設発生土	
	令和 7 年度	160	200		
	令和 8 年度	80	120		
	令和 9 年度	120	0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	360	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	4,300	4,300	0	
	令和 8 年度	2,600	2,600	0	
	令和 9 年度	4,000	4,000	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	10,900	10,900	0	
事業の必要性、 緊急性	・音羽川水系稲束川は北に位置し流路延長1.1kmの準用河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・稲束川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3 6 0 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、3 6 0 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名	豊川市
河 川 名	音羽川水系準用河川天王川
担当課室名	道路河川管理課河川港湾係
連 絡 先	0533-89-2279（内線1419）

事業名	音羽川水系天王川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する音羽川水系天王川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市赤坂町関川地先～豊川市赤坂町狭石地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度、令和 9 年度（2 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量		
	令和 7 年度	20（1,400m ³ ）	10	第 3 種建設発生土	
	令和 8 年度		10		
	令和 9 年度	10	0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	30（1,400m ³ ）	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	3,800	3,800	0	
	令和 8 年度		0	0	
	令和 9 年度	700	700	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	4,500	4,500	0	
事業の必要性、 緊急性	・音羽川水系天王川は西に位置し流路延長1.22kmの準用河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・天王川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の伐採面積が 1,400m ² 及び河道内の土砂堆積量は 30m ³ であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度、令和 9 年度の 2 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、30m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名	豊川市
河 川 名	音羽川水系準用河川千束川
担当課室名	道路河川管理課河川港湾係
連 絡 先	0533-89-2279（内線1419）

事業名	音羽川水系千束川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する音羽川水系千束川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市長沢町小佐町地先～豊川市長沢町関屋地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（1 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量	第 3 種建設発生土	
	令和 7 年度	100	0		
	令和 8 年度		0		
	令和 9 年度		0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	100	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	3, 100	3, 100	0	
	令和 8 年度		0	0	
	令和 9 年度		0	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	3, 100	3, 100	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 音羽川水系千束川は西に位置し流路延長1.4kmの準用河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 千束川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0 0 m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、1 0 0 m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・ 河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・ 施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・ 測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名 豊川市

河 川 名 豊川水系準用河川宮出川

担当課室名 道路河川管理課河川港湾係

連 絡 先 0533-89-2279（内線1419）

事業名	豊川水系宮出川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する豊川水系宮出川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市東上町宮沢地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（1 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量	第 3 種建設発生	
	令和 7 年度	290	0		
	令和 8 年度		0		
	令和 9 年度		0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	290	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	7,300	7,300	0	
	令和 8 年度		0	0	
	令和 9 年度		0	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	7,300	7,300	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 豊川水系宮出川は東に位置し流路延長0.12kmの準用河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 宮出川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2 9 0 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、2 9 0 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・ 河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・ 施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・ 測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名 豊川市

河 川 名 音羽川水系準用河川山陰川

担当課室名 道路河川管理課河川港湾係

連 絡 先 0533-89-2279（内線1419）

事業名	音羽川水系山陰川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する音羽川水系山陰川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市萩町小貝津地先～萩町三反田地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度（3 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2) 書き て記載			残量		
	令和 7 年度	200	460	第 3 種建設発生土	
	令和 8 年度	250	210		
	令和 9 年度	210	0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	660	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5, 800	5, 800	0	
	令和 8 年度	7, 900	7, 900	0	
	令和 9 年度	7, 300	7, 300	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	21, 000	21, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・音羽川水系山陰川は北西に位置し流路延長2.1kmの準用河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・山陰川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 6 6 0 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、6 6 0 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名 豊川市

河 川 名 堺川水系準用河川堺川

担当課室名 道路河川管理課河川港湾係

連 絡 先 0533-89-2279（内線1419）

事業名	堺川水系堺川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する堺川水系堺川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市御津町大草外新田地先～豊川市御津町坪野浜新田地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（1 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量		
	令和 7 年度	200	0	第 3 種建設発生土	
	令和 8 年度		0		
	令和 9 年度		0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	200	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	8, 700	8, 700	0	
	令和 8 年度		0	0	
	令和 9 年度		0	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	8, 700	8, 700	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 堺川水系堺川は西に位置し流路延長0.68kmの準用河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 堺川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2 0 0 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、2 0 0 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・ 河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・ 施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・ 測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名 豊川市

河 川 名 豊川水系普通河川蟹川

担当課室名 道路河川管理課河川港湾係

連 絡 先 0533-89-2279（内線1419）

事業名	豊川水系蟹川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する豊川水系蟹川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市東上町北岡地先～東上町土橋地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（1 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量	第 3 種建設発生土	
	令和 7 年度	40	0		
	令和 8 年度		0		
	令和 9 年度		0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	40	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	2, 500	2, 500	0	
	令和 8 年度		0	0	
	令和 9 年度		0	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	2, 500	2, 500	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 豊川水系蟹川は北東に位置し流路延長1. 22kmの普通河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 蟹川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 4 0 m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、4 0 m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・ 河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・ 施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・ 測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名 豊川市

河 川 名 佐奈川水系普通河川佐奈川

担当課室名 道路河川管理課河川港湾係

連 絡 先 0533-89-2279（内線1419）

事業名	佐奈川水系佐奈川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する佐奈川水系佐奈川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市千両町真川地先～千両町早稲田地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（5 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量		
	令和 7 年度	100	720	第 3 種建設発生土	
	令和 8 年度	200	520		
	令和 9 年度	320	200		
	令和 1 0 年度	100	100		
	令和 1 1 年度	100	0		
	計	820	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	2, 800	2, 800	0	
	令和 8 年度	5, 100	5, 100	0	
	令和 9 年度	9, 500	9, 500	0	
	令和 1 0 年度	3, 500	3, 500	0	
	令和 1 1 年度	3, 800	3, 800	0	
	計	24, 700	24, 700	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 佐奈川水系佐奈川は北に位置し流路延長4. 13kmの普通河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 佐奈川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 8 2 0 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、8 2 0 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・ 河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・ 施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・ 測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名 豊川市

河 川 名 佐奈川水系普通河川宮川

担当課室名 道路河川管理課河川港湾係

連 絡 先 0533-89-2279（内線1419）

事業名	佐奈川水系宮川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する佐奈川水系宮川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市千両町石畑地先～千両町開津田地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（1 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量		
	令和 7 年度	100	0	第 3 種建設発生土	
	令和 8 年度		0		
	令和 9 年度		0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	100	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	2,800	2,800	0	
	令和 8 年度		0	0	
	令和 9 年度		0	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	2,800	2,800	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 佐奈川水系宮川は北に位置し流路延長1.46kmの普通河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 宮川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0 0 m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、1 0 0 m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・ 河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・ 施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・ 測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名	豊川市
河 川 名	音羽川水系普通河川白川
担当課室名	道路河川管理課河川港湾係
連 絡 先	0533-89-2279（内線1419）

事業名	音羽川水系白川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する音羽川水系白川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市平尾町前田地先～財賀町栃ノ木地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度（3 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量		
	令和 7 年度	90	280	第 3 種建設発生土	
	令和 8 年度	140	140		
	令和 9 年度	140	0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	370	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	7, 600	7, 600	0	
	令和 8 年度	4, 600	4, 600	0	
	令和 9 年度	5, 000	5, 000	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	17, 200	17, 200	0	
事業の必要性、 緊急性	・音羽川水系白川は北西に位置し流路延長2.19kmの普通河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・白川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3 7 0 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、3 7 0 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名	豊川市
河 川 名	音羽川水系普通河川切山川
担当課室名	道路河川管理課河川港湾係
連 絡 先	0533-89-2279（内線1419）

事業名	音羽川水系切山川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する音羽川水系切山川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市長沢町鴻巣地先～長沢町小土井地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（3 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量	第 3 種建設発生土	
	令和 7 年度	500	700		
	令和 8 年度	500	200		
	令和 9 年度		200		
	令和 1 0 年度		200		
	令和 1 1 年度	200	0		
	計	1, 200	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	17, 300	17, 300	0	
	令和 8 年度	19, 100	19, 100	0	
	令和 9 年度		0	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度	8, 500	8, 500	0	
	計	44, 900	44, 900	0	
事業の必要性、 緊急性	・音羽川水系切山川は西に位置し流路延長2.68kmの普通河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・切山川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 2 0 0 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 3 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、1 2 0 0 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名 豊川市

河 川 名 御津川水系普通河川御津川

担当課室名 道路河川管理課河川港湾係

連 絡 先 0533-89-2279（内線1419）

事業名	御津川水系御津川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する御津川水系御津川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市御津町金野徳寒地先～御津町金野国坂地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 0 年度（4 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2) 書き て記載			残量		
	令和 7 年度	450	1,560	第 3 種建設発生土	
	令和 8 年度	680	880		
	令和 9 年度	680	200		
	令和 1 0 年度	200	0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	2,010	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	12,700	12,700	0	
	令和 8 年度	18,100	18,100	0	
	令和 9 年度	19,800	19,800	0	
	令和 1 0 年度	7,700	7,700	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	58,300	58,300	0	
事業の必要性、 緊急性	・御津川水系御津川は西に位置し流路延長5.79kmの普通河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・御津川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2 0 1 0 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 0 年度の 4 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、2 0 1 0 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名 豊川市

河 川 名 豊川水系普通河川シャラ川

担当課室名 道路河川管理課河川港湾係

連 絡 先 0533-89-2279（内線1419）

事業名	豊川水系シャラ川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 （浚渫箇所（所在地））	豊川市が管理する豊川水系シャラ川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市東上町櫛ノ木地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（1 年間）			土質区分	
予定事業量 （単位：m3） ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き て記載			残量	—	
	令和 7 年度	5m ³	0		
	令和 8 年度		0		
	令和 9 年度		0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	0	0		
予定事業費 （単位：千円）		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	400	400	0	
	令和 8 年度		0	0	
	令和 9 年度		0	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	400	400	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 豊川水系シャラ川は東に位置し流路延長0.37kmの普通河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ シャラ川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の伐採面積が 5 m ³ であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、5 m ³ の伐採を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・ 河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・ 施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・ 測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	※掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）

市 区 町 村 名 豊川市

河 川 名 佐奈川水系普通河川西鞍川

担当課室名 道路河川管理課河川港湾係

連 絡 先 0533-89-2279（内線1419）

事業名	佐奈川水系西鞍川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	豊川市が管理する佐奈川水系西鞍川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：愛知県豊川市千両町鞍狭間地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度、令和 9 年度（2 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書き で記載			残量		
	令和 7 年度	20m ²	20	第 3 種建設発生土	
	令和 8 年度		20		
	令和 9 年度	20	0		
	令和 1 0 年度		0		
	令和 1 1 年度		0		
	計	20	0		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	400	400	0	
	令和 8 年度		0	0	
	令和 9 年度	1, 000	1, 000	0	
	令和 1 0 年度		0	0	
	令和 1 1 年度		0	0	
	計	1, 400	1, 400	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 佐奈川水系西鞍川は北に位置し流路延長5. 79kmの普通河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 西鞍川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の伐採面積が 5 m ² 及び河道内の土砂堆積量は 2 0 m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度、令和 9 年度の 2 年間で、河川環境の生態系保全等に配慮しつつ、2 0 m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：観測頻度（年 1 回）、時期（通年） ・ 河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（通年等） ・ 施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度（年 1 回）、時期（出水期前） ・ 測量・調査：頻度（1 年 1 回）				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	掘削した土砂等については、コスト削減の観点から築堤・道路等への活用を図る予定。				